【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第１区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-506944(P2005-506944A)
【公表日】平成17年3月10日(2005.3.10)
【年通号数】公開・登録公報2005-010
【出願番号】特願2003-526821(P2003-526821)
【国際特許分類】
Ｃ０１Ｂ　21/14　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０１Ｂ　21/14　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成17年7月7日(2005.7.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
脱離工程中にイオン交換樹脂からヒドロキシルアミンを脱離させるために使用される塩基水溶液は、必要によりヒドロキシルアミンを含んでいても良い。この塩基水溶液がヒドロキシルアミンを含む場合、その後に樹脂吸着床を水でリンスすることによって最終的に得られるイオン交換カラム流出液は、ヒドロキシルアミンを、ヒドロキシルアミンが塩基水溶液中に含まれていなかった場合に得られる濃度より実質的に高い濃度で含む。この効果により、循環及び／又は連続イオン交換法において、ヒドロキシルアミン生成溶液の一部を、塩基との混合後に次のサイクルのアンローディング工程（抜き取り工程：unloading step）に単に循環させることによって比較的濃縮されたヒドロキシルアミンの母液を回収することができる。